

「難聴・中途失聴とコミュニケーション」



当事者に聞く

家族・友人との関わり 職場での経験と工夫



聞こえない、聞こえにくいということは、外から見てもわかりません。難聴者や中途失聴者の中には声を出してお話する人も多く、聞こえていると誤解されることもあります。この講座では、言語聴覚士から聞こえの仕組み、そして難聴当事者から家庭、学校、職場などで経験した苦労や、それらをどう解決してきたかをお聞きします。難聴・中途失聴について正しい知識と理解を得て、適切で有効なコミュニケーション方法や合理的配慮について皆さんとともに考え、共に生きる社会を目指しましょう。

日時：10月12日(土) 午後2時00分～4時30分

場 所：永山公民館視聴覚室 ベルブ永山 4 階 小田急・京王永山駅 徒歩 5 分

講 師：小谷野 依久 氏 東京都中途失聴・難聴者協会 理事

* 小学校入学を機に補聴器使用、4 年前右耳に人工内耳を使用

天野 京子 氏 言語聴覚士

定 員：30 名

参 加 費：無料

対 象：聞こえに不便を感じている人、そのご家族、友人など
聞こえない人と接する機会が多く、上手なコミュニケーション方法を知りたい人
その他、講座のテーマ・内容に興味関心のある人

問合せ・申込：多摩市要約筆記サークル 担当・伊藤

TEL:090-3816-5836 FAX: 042-374-4724

メールアドレス: otiokoan.76@ozzio.jp

主 催：多摩市要約筆記サークル

協 力：多摩市難聴者「虹の会」



多摩市要約筆記サークル

多摩市要約筆記サークルは、多摩市を中心に活動しているボランティアグループです。

聞こえない人、聞こえにくい人に、文字による情報保障を行っています。

要約筆記とは…

大勢の人が参加する講演会ではスクリーンへの拡大投影、病院や保護者会などでは紙に書いて伝えるノートテイク、大学の講義等でのパソコンノートテイク、また野外での活動ではホワイトボードの使用など、話されていることをその場で文字にしてお伝えします。

多摩市要約筆記サークルでは、その他、映画や映像教材に字幕を付ける活動、会議などの「記録」「文字起こし」も行っています。